

## 最近の県内景気動向

平成 13 年 2 月 27 日  
日本銀行水戸事務所

### ～足取り鈍化も、回復に向けた動き続く～

最近の管内経済動向をみると、米国経済の減速等に伴い先行き不透明感が広がっているものの、製造業の生産が引き続き堅調を保っているほか、企業収益や雇用面の改善も続いているなど、足取りが鈍化しているとはいえ、なお回復に向けた動きが続いている。

### 《 個人消費 》

#### ■1月の大型小売店の売上

冬物重衣料のバーゲンセールが好調であったことに加え、閉店セールの効果等もあって、主力の衣料品が久方ぶりに前年を上回ったものの、食料品、雑貨が振るわなかったため、全体では引き続き前年割れ（前年比▲1.9%）となった。2月入り後は、寒気の続いた中旬までは冬物衣料の最終処分等が好調であったが、その後は品不足等から一服状態となっている。

#### ■1月の乗用車新車登録台数

普通車（前年比+12.0%）の新型車投入効果を主因に、前年を上回った（同+4.3%）。

#### ■1月の家電販売

寒気到来に伴い石油ファンヒーター、電気カーペット等の暖房器具が高い伸びとなったことに加え、特定家庭用機器再商品化法（所謂家電リサイクル法）対象商品（冷蔵庫、テレビ、洗濯機、エアコン）の売行きも好調なことから、全体では前年を上回った。

#### ■旅行取扱い

年明け後の実績（金額）としては、大雪によるキャンセルや近場の旅行が多いことなどから、前年をやや下回ったが、3月の予約は、春休みの家族旅行や卒業旅行を中心にほぼ前年並みとなっている。

### 《 公共・住宅投資 》

#### ■1月の公共工事請負金額

大型工事のみられた国（前年比+33.7%）が前年比大幅な増加となったものの、県（同▲32.7%）が大幅な減少となったことから、全体では再び前年を下回った（同▲11.9%）。

#### ■12月の新設住宅着工戸数

集中着工のみられた分譲貸家（前年比+44.9%）が大幅増となったものの、主力の持家（同▲13.5%）が大幅減に転じたことから、全体では前年を大幅に下回った（同▲13.6%）。

### 《 生産動向 》

12月の鉱工業生産および出荷は、電気機械、一般機械等を中心に前月を上回る一方、前年比では一般機械、プラスチック等の減少を主因に前年割れとなった。この間、在庫は電気機械の大幅な増加を主因に、前月に引き続き前年を上回った。1月の産業用電力消費量は、電気機械、非鉄金属等を中心に、全体では前年比プラス幅を拡大した。

### 《 雇用動向 》

雇用保険受給者数が減少傾向にあるほか、有効求人倍率も、新規求人が比較的高い伸びとなっていることから、ひとところに比べやや改善している。

### 《 企業倒産 》

1月の企業倒産（負債総額10百万円以上の件数、負債総額合計）をみると、件数（21件）、金額（30億円）ともに、前年（24件、43億円）を下回ったものの、引き続き高水準にある。

茨城県主要経済指標

（前年比、%）

	11年	12/11	12/12	13/1
大型小売店売上高	▲7.1	▲3.1	▲4.0	▲1.9
乗用車新車登録台数				
〔除く軽〕	▲7.6	5.3	6.3	4.3
〔含む軽〕	▲1.0	5.7	4.6	1.9
渡航者数〔観光〕	4.2	17.6	n.a.	n.a.
公共工事請負金額	▲15.1	▲7.7	17.9	▲11.9
新設住宅着工戸数	2.5	1.6	▲13.6	
〔持家〕	8.3	10.7	▲13.5	n.a.
産業用電力消費量	0.1	3.7	3.1	4.1
〔大口電力〕	▲0.3	3.7	3.2	4.3
鉱工業指数〔生産〕	—	▲1.9	—	—
〔出荷〕	—	▲2.2	—	—
〔在庫〕	—	6.4	—	—
有効求人倍率（倍）	0.54	0.72	0.72	n.a.
常用雇用（指数）	98.8	n.a.	n.a.	n.a.
1人当たり名目賃金（指数）	98.4	n.a.	n.a.	n.a.
所定外労働時間	2.3	n.a.	n.a.	n.a.
倒産件数	2.2	5.3	0.0	▲12.5